

【美術博物館】山口県周南市花島町10-16 (0834-22-8880) <http://s-bunka.jp/bihaku/>

【郷土美術資料館・尾崎正章記念館】山口県周南市富田永源 (TOSOH PARK 永源山内) (0834-62-3119) <http://s-bunka.jp/kyoubi/>

谷川俊太郎 絵本★百貨展

11月24日(日)まで開催中

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

月曜休館 ただし、10月14日(月・祝)、11月4日(月・休)は開館、
10月15日(火)、11月5日(火)は休館

観覧料

■一般 1,300円(1,100円) ■大学生 1,000円(800円)

()内は前売および20名以上の団体

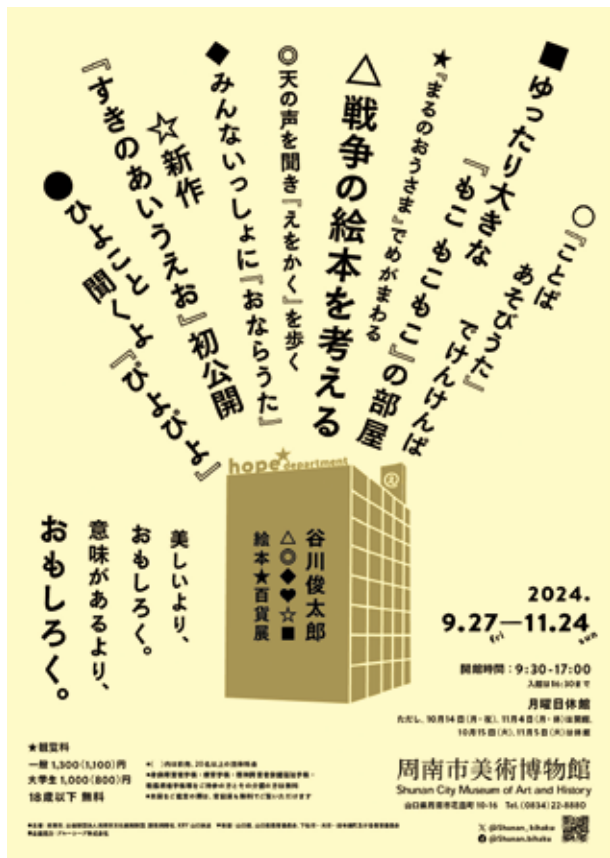
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料

●本展をご鑑賞の方は、常設展も無料でご覧いただけます

18歳以下
無料

谷川俊太郎は、1960年代から現在にいたるまで、画家や写真家とコラボレーションして200冊にも及ぶ絵本を手がけてきました。今回の展覧会では、その中から約20作品を紹介しています。

展覧会のチラシをご覧ください。



キャッチコピー「美しいより、おもしろく。意味があるより、おもしろく。」のとおり、展示もユニークです。たとえば…

○『ことばあそびうた』でけんけんば

けんけんばをしながら『ことばあそびうた』の中のことばのリズムを味わうことができます。

★『まるのおうさま』でめがまわる

お皿、タイヤ、コンパスなどまるいものが登場し、我こそが、“まるのおうさま”だと言いあうという内容で、スピード感あふれる映像で絵本の世界観が表現されています。

写真は東京会場展示風景(撮影:高橋マナミ)



また、コップの中に入れて外を眺めたり、鏡の箱の中でコップ越しの世界をのぞいたり、実際に絵本の世界を体験できる展示もあります。

『こっぷ』という絵本は、福音館書店の「かがくのとも」シリーズで出版されたものです。

「自分の目の前にある小石一個でもいいんだけど、そういうものを実際に一生懸命見ていると、何でもないものが、いかに不思議で豊かな存在に見えてくるかということなんですね。」「そのものに即しながら世界の広がりを感じ取っていくということですね。」「科学というのは、ものの見方、世界の感じ方だろうと思うんです。」と谷川は語っています。

■ゆったり大きな『もこもこもこ』の部屋

擬音が駆使された絵本で、谷川による朗読に合わせて、元永定正が描いた色鮮やかな抽象的な形がいきいきと動き出す映像は、絵本の世界観をさらに広げます。



『すきのあいうえお』(写真:田附勝)では、谷川がすきなものの、すきな言葉が「あ」から「ん」まで続きます。谷川が自身の赤ちゃんの頃のスナップを手にしたこの写真も登場します。どこに出でくるのか、会場ぜひ見つけてみてください。



撮影:田附勝

谷川俊太郎の絵本には、「ものの見方」「世界の感じ方」など子どもだけでなく大人にとっても改めて気づかされることが多くあります。原画だけではなく、絵本の中の「ことば」の魅力も味わっていただければと思います。

(学芸員 松本久美子)



谷川俊太郎 絵本★百貨展

関連イベント

講演会① 木下龍也氏「谷川俊太郎と僕」は定員に達したので、応募は締め切りました

◆講演会②「ひとりでいた時間」 要事前申し込み

11月16日(土)14:00~15:00

講師/市河紀子氏(編集者)

谷川俊太郎とも、周南市出身のまど・みちおとも一緒に仕事をされた編集者から見た、二人の詩人についてお話いただきます。

会場/周南市美術博物館 講座室 定員/50名(先着順)

申し込み方法/電話で美術博物館(0834-22-8880)までお申し込みください。

※聴講無料。ただし企画展観覧券(半券でも可)が必要です。

◆学芸員によるギャラリートーク 申し込み不要

10月13日(日)14:00~ ※企画展観覧券をお求めの上、展示室にお集まりください。

オリジナルグッズ



絵本★百貨展トートバッグ
3,520円

ここはおうち
ポストカード
各330円



まるのおうさま ステッカー
各792円



詩のポストカード 各330円



(左)Tシャツ こっぷ
4,400円

(右)Tシャツ 絵本
4,400円



トイレトペーパー 4種セット 1,100円
単品 330円

ピンズ
各748円



※表示価格はすべて税込です ※売り切れの際にはご了承ください



えをかくの
手ぬぐい
2,420円

撮影:長谷川明

美博クイズ~!〈129〉 もんだい

谷川俊太郎さんは、詩や絵本の
ほかにも作品を発表しているよ。
どんなものがあるだろう?

LAWSON

PREMIUM CHRISTMAS

★クリスマスケーキ★チキン★パーティーフーズ

ご予約承り中

LAWSON 徳山動物園前店 0834 32-8363

※画像はイメージです。

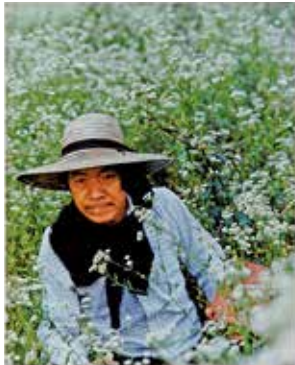
周南市美術博物館
常設展示

- 常設展観覧料：一般200円(160円) 大学生等100円(80円) ()内は20名以上の団体
※18歳以下および70歳以上無料※企画展の観覧券で常設展もご覧いただけます
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
- 休館日：月曜日※ただし、10/14開館、10/15休館。

展示室 4 林忠彦記念室

織田廣喜 10/31(木)まで

林忠彦は、織田廣喜について「人気が出て日本の洋画壇を代表するような立場になっても、決して偉ぶらず、昔と同じ気持ちで絵に向かい、人に接しているところ」が「偉いと思う」と語っています。



「徹底的に対象を見つめる目」
林忠彦撮影

一方、織田は、林が自分を撮り続け二科に展出してくれることに対して、「自分がそうしてもらった価値のある画家だろうか、それに相応しい絵を描かなければ申しわけない」と思って努力を続けていたそうです。

二人の作品や言葉からは、制作に対する情熱、相手への尊敬の念など、相通じるものが感じられます。

参考：『讃歌』1992年(発行 サン・アート)

展示室 5 まど・みちおコーナー

今回の内容の展示は12/28(土)まで

クレヨンで線を描いて、その上から水彩絵の具を塗るとクレヨンの油が水をはじいて線が浮き出てくる感じになります。この作品はそういった「はじき絵」で描かれています。「はじき絵」は、みなさんも小さい頃にやったことがあるのではないのでしょうか。

まどさんは、身近な画材で、いろいろな描き方を試しています。 [(タイトルなし)]1961年8月16日
クレヨン、水彩、ボールペン・紙



徳山の歴史 特設コーナー

「描かれた児玉源太郎」
12/28(土)まで展示中

司馬遼太郎の小説『坂の上の雲』は、秋山真之、兄の好古、正岡子規を中心に明治の時代を描いたものです。児玉源太郎も登場します。

現在、この小説を実写化したスペシャルドラマが、毎週日曜午後11時からNHK総合で放送されています。これを記念して、児玉源太郎のブロンズ像をはじめ、彼を描いた錦絵などを展示しています。



「熊本城ノ将校賊軍嘲嘆之図」
お酒に酔っているのか居眠りしている源太郎の姿が描かれています。

第33回林忠彦賞 作品募集 Who is the next ?
社会は心を撃つ写真をさがしています 2024年12月31日(火)必着!!

- 資格 国内居住であれば、アマチュア、プロ、年齢、性別、国籍を問いません。
- テーマ 自由
- 対象 以下①、②の条件を満たすもの
①2024年1月1日～12月31日に写真展、写真集、雑誌、公募等の表現媒体ですでに発表された作品。②受賞記念写真展を開催する関係上、同一テーマで35枚以上から70枚程度までの写真で構成された作品。
- 選考委員 ●大石芳野 写真家 ●笠原美智子 長野県立美術館館長
●河野和典 (公社)日本写真協会出版広報委員 ●小林紀晴 写真家
●有田順一 周南市美術博物館館長 (敬称略)
- 賞 ブロンズ像(笹戸千津子作「爽」)及び賞金100万円
- 選考発表 選考後、受賞者に通知するとともに各報道機関に発表します。(2025年3月上旬予定)授賞式と受賞記念写真展は周南市で開催します。
受賞作品は、銀塩ペーパー・小全紙サイズで再制作し、林忠彦コレクションとして周南市美術博物館に永久保存します。



第32回(前回)受賞作
「BENZO ESQUISSES
1920-2012」
奥山 淳志

募集要項・歴代受賞作品などの詳細や最新情報はホームページをご覧ください。応募用紙のダウンロードもできます。

<http://hayashi-award.com/>

応募先/問合せ先…林忠彦賞事務局(周南市美術博物館)
〒745-0006 周南市花島町10-16 TEL(0834)22-8880 FAX(0834)22-8886



美博クイズ〜!〈129〉こたえ

エッセイ、翻訳、脚本、作詞などがあるよ。『スイミー』の翻訳や、「鉄腕アトム」の主題歌の作詞もしているよ。

- 標記部
産業安全・消防・交通標識・金属看板・各種旗
ステッカー・ネームプレート・プラスチック加工

Sign & Gift

岡寺産業株式会社

〒745-0062 周南市月丘町3丁目6 TEL(0834)31-4321
FAX(0834)31-4323
記念品部直通 TEL(0834)27-4322

ART and HISTORY インフォメーション

周南

周南市美術博物館 ☎0834-22-8880

谷川俊太郎 絵本★百貨展
～11/24(日)

周南市郷土美術資料館 ☎0834-62-3119

空調工事等のため、
2025年1月10日まで休館

防府

毛利博物館 ☎0835-22-0001

山口県文化財指定記念 企画展
「武家のならわし
—大内氏故実書の世界—」
～10/27(日)

山口

山口県立美術館 ☎083-925-7788

超絶技巧、未来へ!
明治工芸とそのDNA
～11/10(日)

山口県立山口博物館 ☎083-922-0294

サイエンスやまぐち2024(第78回)
10/25(金)～11/10(日)

萩

萩博物館 ☎0838-25-6447

萩博物館開館20周年記念企画展
「幕末維新の萩-小川コレクションから-」
10/3(木)～12/8(日)

長門

香月泰男美術館 ☎0837-43-2500

没後50年香月泰男展
第三期1966→1974
10/11(金)～1/13(月・祝)

下関

下関市立美術館 ☎083-245-4131

漫画家生活60周年記念
青池保子展 Contrail 航跡のかがやき
～10/14(月・祝)

下関市立歴史博物館 ☎083-241-1080

特別展「天下人との邂逅
—海峡の戦国史 第3章—」
10/4(金)～12/1(日)

～ TOSOH PARK 永源山の中にある美術館～

周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館

※空調工事等のため、2025年1月10日まで休館



当館はふるさと周南市の画家、尾崎正章の作品を中心に、地元の作家の作品を紹介する施設として、1995年に開館しました。空調工事等のためしばらく休館となりご迷惑をおかけしております。この機会に尾崎正章の歩んだ足跡を当コーナーで紹介します。

尾崎正章の作品

7.「尾崎の描いた身近なものたち」

晩年、尾崎はお気に入りの陶器をモチーフにしてたびたび描きました。「ひっそりとしたアトリエに赤絵の皿や丹波の種壺、京都北野の朝市でみつけた享保雛(きょうほうびな)や雛の首から明治時代のものと思える道具物、もちろん残念物といわれるものばかりではあるが、この確



「あけび」1989年 油彩・キャンバス

かな製作年代も作者の名前も知られないがらくた物がどうにもならない魅力を持っている。(中略)個人の出しゃばらない美しさ、いつも自分のオリジナルな世界というようなものばかり意識させられている私達にとって、こういう個もなく名前もないものは時としてやるせないあこがれともなってくる。※彼はアトリエにある民芸品の、当時の職人の無心な仕事ぶりを想像し、遠い郷愁のようなものを覚えたといえます。



「椿(一)」1980年頃 油彩・キャンバス



「静物(一)」制作年不詳 油彩・キャンバス

※『初昔』(1972年発行 赤間閣書房) P.29-30より

(尾崎正章が選暦記念に出した文集。それまでに発表した文章をまとめたもの)

〈次回「白の世界について」に続く〉

最新の情報は、当館ホームページでご確認ください。 <http://s-bunka.jp/kyoubi/>

に感じます。
10月6日「広島交響楽団×三浦文彰 周南特別公演」ではブラームスの交響曲第一番を演奏します。会場ならではの圧倒的臨場感。久しぶりに生音にかえてみてみませんか？

(中村)

今から150年前に作曲家のブラームスも同じような衝撃を受けたようです。
1889年にブラームスの友人の家に実用化されてまだ間もない蓄音機が実演のため持ち込まれた事がありました。ブラームスは弾く前から大騒ぎをして、録音準備が整わないまま始めたりとなかなかの興奮状態だったようです。弾き終わった後も非常に感激した様子で録音を何度も聞いて「まるでおとぎの世界にいるようだ」と感想まで残しています。新しいテクノロジーにはしゃぐ姿を思うと巨匠を少し身近に感じます。

ミニコラム
ガス燈

2001年10月23日世界に激震が走りました。初代CDの発売です。
「音楽の聴取体験に対する再定義」と呼ばれた怪物的音楽機器。カセットテープと同じ大きさにもかかわらず収録可能曲数は驚異の1000曲。当時はどうやって曲をしまっているのだろうかと思議で仕方ありませんでした。